

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビ ー ファン ド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー ファン ド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ ー ファン ド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マ ザ ー ファン ド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・
オープン（為替ヘッジなし）

第15期（決算日：2024年12月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る12月9日に第15期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

期間の初めから2024年8月初めにかけては、それまで堅調に推移していた大型ハイテック株の調整や米景気減速懸念などにより下落する場面もみられました。その後は、底堅い米経済指標や堅調な企業業績などを背景に米景気の軟着陸期待が高まったことや、米大統領選でレッドスウィープ（共和党候補の勝利かつ上下院勝利）となり減税や規制緩和が企業業績の拡大に繋がるとの期待などから上昇し、期間の初めからは株価は上昇しました。当期間は、これまでのAI（人工知能）や半導体関連など大手ハイテック株が主導する展開から、比較的幅広い銘柄へと買いが広がりましたが、ビューティー・ビジネス関連銘柄は、コロナ禍後に高まったペントアップ（先送り）需要の剥落等による成長率の鈍化や、引き続き中国需要の回復の遅れなどが重石となり軟調に推移しました。

運用のポイント

高いブランド力と、スキンケア商品を中心に展開する中国の化粧品メーカーである「PROYA COSMETICS CO LTD-A」を新規に組み入れました。他社に先駆けてEコマース（電子商取引）市場に参入し、2023年末のEコマース売上高比率は90%を超えました。独自成分による商品開発や巧みなマーケティング戦略などにより消費者から高い支持を受け、他社が苦戦する中国市場でも成長を続けています。既存製品に加えて、高価格帯への商

品ポートフォリオ拡大も計画しており、引き続き成長を期待しています。また、世界的な高いブランド力や成長性などを重視し、引き続き「PROCTER & GAMBLE CO/THE」、「KENVUE INC」などの米有力消費財メーカーの上位組み入れを維持しました。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。足元で中国の化粧品需要の回復が遅れているようですが、グローバルでは引き続きプラスの成長が維持される見込みです。ビューティー市場は今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。



株式運用部
ファンドマネージャー

秋元 政隆 西 直人 柳原 武士 飯田 太郎 小島 直人 安井 陽一郎

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金	分配	み騰落中率			
	円		円		%	%	百万円
11期(2022年12月9日)	10,000		43	5.4	94.1	－	23,960
12期(2023年6月9日)	10,000		376	3.8	91.6	－	22,536
13期(2023年12月11日)	9,799		0	△ 2.0	93.5	－	23,883
14期(2024年6月10日)	10,000		697	9.2	93.4	－	21,408
15期(2024年12月9日)	8,950		0	△10.5	94.9	－	19,040

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率	株式先物比率
		騰落	率		
(期首) 2024年6月10日	円 10,000		% －	% 93.4	% －
6月末	10,093		0.9	96.9	－
7月末	9,433		△ 5.7	96.9	－
8月末	9,070		△ 9.3	93.7	－
9月末	9,330		△ 6.7	95.0	－
10月末	9,198		△ 8.0	96.3	－
11月末	8,872		△11.3	94.2	－
(期末) 2024年12月9日	8,950		△10.5	94.9	－

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

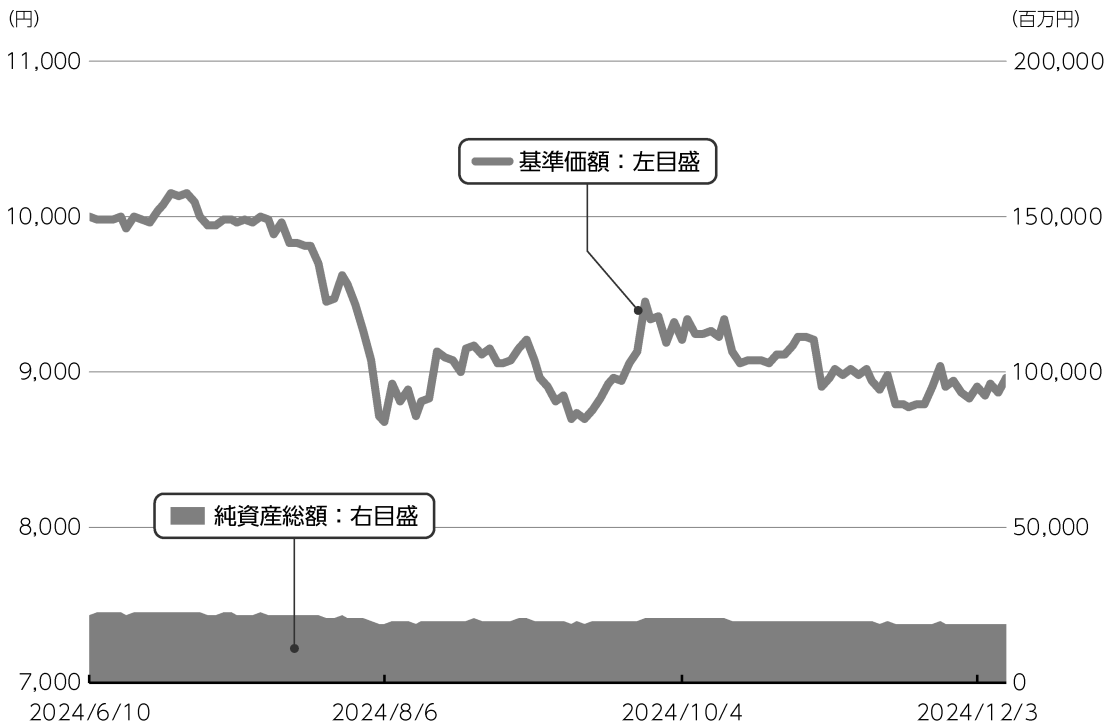
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第15期：2024年6月11日～2024年12月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第15期首	10,000円
第15期末	8,950円
既払分配金	0円
騰落率	-10.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ10.5%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

組入銘柄（資生堂、ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、L'OREAL）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。円に対して米ドルやユーロなどが下落したことが、マイナスに影響しました。

第15期：2024年6月11日～2024年12月9日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年8月初めにかけては、それまで堅調に推移していた大型ハイテク株の調整や米景気減速懸念などにより下落する場面もみられました。その後は、底堅い米経済指標や堅調な企業業績などを背景に米景気の軟着陸期待が高まったことや、米大統領選でレッドスウ

ープ（共和党候補の勝利かつ上下院勝利）となり減税や規制緩和が企業業績の拡大に繋がるとの期待などから上昇し、期間の初めからは株価は上昇しました。

▶ 為替市況

円に対して米ドル、ユーロは下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

化」などに着目した運用を行いました。通貨別では、米ドルなどの比率を引き上げた一方、英ポンドや日本円などの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、期間の初めの34銘柄から期間末は38銘柄となりました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム

主な銘柄入替は以下の通りです。高いブランド力と、スキンケア商品を中心に展開する中国の化粧品メーカーである「PROYA COSMETICS CO LTD-A」などを新規に組み入れました。イギリスのパーソナルケア用品等を手掛ける「RECKITT BENCKISER GROUP PLC」などを全売却しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第15期
	2024年6月11日～2024年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	325

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

ここ最近、ビューティー関連商品の取り扱いを拡大している小売り店舗が、特に米国で目立ちます。背景には、ビューティー関連商品によって、店舗への集客力をより高めたいという狙いがありそうです。例えば、化粧品専門小売りのアルタ・ビューティとセフォラは、それぞれ総合ディスカウントストアのターゲット、小売りチェーンのコールズに店舗内店舗という形態での出店を加速しており、その出店数はコロナ後だけで合計1,000店舗を超えています。また、Eコマース（電子商取引）のアマゾンも、価格帯が高めのプレステージ化粧品の取り扱い拡大に積極的で、ブランドオーナーが自ら管理できるブランドページの開設も増えています。このように、消費者がビューティー関連商品にアクセスできる場が広がることは、ビューティー市場の拡大に寄与すると考えています。

足元で中国の化粧品需要の回復が遅れているようですが、グローバルでは引き続きプラスの成長が維持される見込みです。ビューティー市場は今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。

2024年6月11日～2024年12月9日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	83	0.899	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(41)	(0.439)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.057	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(5)	(0.057)	
(c) 有価証券取引税	1	0.012	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.012)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	90	0.978	

期中の平均基準価額は、9,268円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

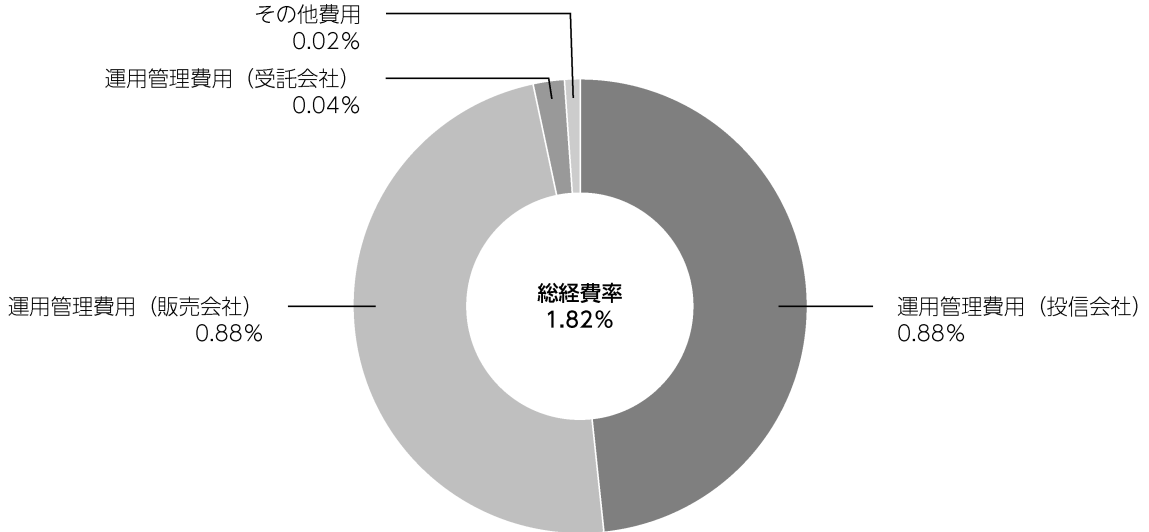
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.82%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年6月11日～2024年12月9日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 922,634	千円 1,893,430	千口 519,932	千円 986,810

○株式売買比率

（2024年6月11日～2024年12月9日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,740,811千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,387,955千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2024年6月11日～2024年12月9日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	5,349	140	2.6%	5,391	182	3.4%
為替直物取引	4,805	—	—	4,361	434	10.0%

平均保有割合 87.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	11,658千円
うち利害関係人への支払額 (B)	216千円
(B) / (A)	1.9%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年12月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	9,824,087	10,226,789	18,983,989

○投資信託財産の構成

(2024年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	18,983,989	98.4
コール・ローン等、その他	304,425	1.6
投資信託財産総額	19,288,414	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（18,286,505千円）の投資信託財産総額（21,646,060千円）に対する比率は84.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.85円	1 ユーロ=158.20円	1 イギリスポンド=190.98円	1 スイスフラン=170.54円
1 香港ドル=19.26円	100韓国ウォン=10.53円	1 オフショア元=20.5818円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年12月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	19,288,414,269
コール・ローン等	304,423,335
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	18,983,989,152
未収利息	1,782
(B) 負債	248,334,381
未払解約金	64,815,918
未払信託報酬	183,172,290
その他未払費用	346,173
(C) 純資産総額(A-B)	19,040,079,888
元本	21,274,775,539
次期繰越損益金	△ 2,234,695,651
(D) 受益権総口数	21,274,775,539口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,950円

○損益の状況（2024年6月11日～2024年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	187,156
受取利息	187,156
(B) 有価証券売買損益	△1,975,596,736
売買益	141,349,157
売買損	△2,116,945,893
(C) 信託報酬等	△ 183,518,463
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△2,158,928,043
(E) 前期繰越損益金	43,506,577
(F) 追加信託差損益金	△ 119,274,185
(配当等相当額)	(647,995,749)
(売買損益相当額)	(△ 767,269,934)
(G) 計(D+E+F)	△2,234,695,651
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△2,234,695,651
追加信託差損益金	△ 119,274,185
(配当等相当額)	(649,606,198)
(売買損益相当額)	(△ 768,880,383)
分配準備積立金	43,506,577
繰越損益金	△2,158,928,043

<注記事項>

- ①期首元本額 21,407,912,397円
 期中追加設定元本額 2,124,995,073円
 期中一部解約元本額 2,258,131,931円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8950円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,234,695,651円です。

③分配金の計算過程

項 目	2024年6月11日～ 2024年12月9日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	649,606,198円
分配準備積立金額	43,506,577円
当ファンドの分配対象収益額	693,112,775円
1万口当たり収益分配対象額	325円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。

(2024年11月5日)

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第15期》決算日2024年12月9日

[計算期間：2024年6月11日～2024年12月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月9日に第15期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
11期(2022年12月9日)	18,023		6.4	99.1	—	27,458
12期(2023年6月9日)	18,868		4.7	98.0	—	25,480
13期(2023年12月11日)	18,667	△	1.1	98.4	—	26,499
14期(2024年6月10日)	20,566		10.2	98.9	—	23,490
15期(2024年12月9日)	18,563	△	9.7	95.2	—	21,646

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	
				式 率
(期 首) 2024年 6 月 10 日	円 20,566	% —	% 98.9	% —
6 月 末	20,774	1.0	97.3	—
7 月 末	19,444	△ 5.5	97.2	—
8 月 末	18,722	△ 9.0	94.2	—
9 月 末	19,289	△ 6.2	95.3	—
10 月 末	19,044	△ 7.4	96.5	—
11 月 末	18,391	△ 10.6	94.5	—
(期 末) 2024年 12 月 9 日	円 18,563	△ 9.7	95.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.7%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

- ・ 組入銘柄（資生堂、ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、L' OREAL）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。
- ・ 円に対して米ドルやユーロなどが下落したことが、マイナスに影響しました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・ 世界の株式市況は上昇しました。
期間の初めから2024年8月初めにかけては、それまで堅調に推移していた大型ハイテク株の調整や米景気減速懸念などにより下落する場面もみられました。その後は、底堅い米経済指標や堅調な企業業績などを背景に米景気の軟着陸期待が高まったことや、米大統領選でレッドスウィープ（共和党候補の勝利かつ上下院勝利）となり減税や規制緩和が企業業績の拡大に繋がるとの期待などから上昇し、期間の初めからは株価は上昇しました。

◎為替市況

- ・ 円に対して米ドル、ユーロは下落しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、米ドルなどの比率を引き上げた一方、英ポンドや日本円などの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、期間の初めの34銘柄から期間末は38銘柄となりました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

高いブランド力と、スキンケア商品を中心に展開する中国の化粧品メーカーである「PROYA COSMETICS CO LTD-A」などを新規に組み入れました。イギリスのパーソナルケア用品等を手掛ける「RECKITT BENCKISER GROUP PLC」などを全売却しました。

○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで利用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜

在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

- ・ここ最近、ビューティー関連商品の取り扱いを拡大している小売り店舗が、特に米国で目立ちます。背景には、ビューティー関連商品によって、店舗への集客力をより高めたいという狙いがありそうです。例えば、化粧品専門小売りのアルタ・ビューティとセフォラは、それぞれ総合ディスカウントストアのターゲット、小売りチェーンのコールズに店舗内店舗という形態での出店を加速しており、その出店数はコロナ後だけで合計1,000店舗を超えています。また、Eコマース（電子商取引）のアマゾンには、価格帯が高めのプレステージ化粧品の取り扱い拡大に積極的で、ブランドオーナーが自ら管理できるブランドページの開設も増えています。このように、消費者がビューティー関連商品にアクセスできる場が広がることは、ビューティー市場の拡大に寄与すると考えています。
- ・足元で中国の化粧品需要の回復が遅れているようですが、グローバルでは引き続きプラスの成長が維持される見込みです。ビューティー市場は今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年6月11日～2024年12月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.058 (0.058)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.009 (0.009) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	15	0.079	
期中の平均基準価額は、19,138円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月11日～2024年12月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 141	千円 513,907	千株 287	千円 841,212
	アメリカ	百株 3,128	千アメリカドル 17,740	百株 3,706	千アメリカドル 19,294
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	88	710	146	1,719
	イタリア	465	724	—	—
	フランス	92 (15)	3,584 (—)	10	704
	スペイン	1,225	2,666	—	—
	イギリス	191	千イギリスポンド 827	874	千イギリスポンド 3,647
スイス	334	千スイスフラン 2,008	740	千スイスフラン 3,422	
韓国	40 (163)	千韓国ウォン 1,074,673 (—)	—	千韓国ウォン —	
中国オフショア	1,055	千オフショア元 11,877	—	千オフショア元 —	

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年6月11日～2024年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	10,740,811千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,387,955千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月11日～2024年12月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	5,349	140	2.6	5,391	182	3.4
為替直物取引	4,805	—	—	4,361	434	10.0

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	13,339千円
うち利害関係人への支払額 (B)	248千円
(B) / (A)	1.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年12月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	評 価 額
化学 (67.7%)	千株		千株	千円
日油	360.3		214.8	475,889
花王	117.2		95.6	634,592
資生堂	168.5		173.6	469,848
I - n e	148.1		148.1	298,569
医薬品 (16.4%)				
ロート製薬	145.8		161.5	454,622
情報・通信業 (15.9%)				
アイスタイル	978.8		978.8	440,460
合 計	株 数	金 額	株 数	評 価 額
	1,918		1,772	2,773,982
	銘 柄 数 < 比 率 >		6	< 12.8% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
COLGATE-PALMOLIVE CO	660	634	5,978	895,810	家庭用品・パーソナル用品
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	548	405	3,212	481,387	家庭用品・パーソナル用品
ELI LILLY & CO	—	18	1,492	223,607	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BATH & BODY WORKS INC	539	539	1,972	295,615	一般消費財・サービス流通・小売り
PROCTER & GAMBLE CO/THE	401	566	9,852	1,476,391	家庭用品・パーソナル用品
LULULEMON ATHLETICA INC	89	45	1,837	275,388	耐久消費財・アパレル
ULTA BEAUTY INC	184	166	7,127	1,068,092	一般消費財・サービス流通・小売り
CHURCH & DWIGHT CO INC	93	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ABBVIE INC	123	141	2,491	373,351	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COTY INC-CL A	7,852	8,076	6,146	921,000	家庭用品・パーソナル用品
INTERPARFUMS INC	218	216	2,952	442,465	家庭用品・パーソナル用品
APTARGROUP INC	249	147	2,518	377,367	素材
PLANET FITNESS INC - CL A	583	278	2,776	416,041	消費者サービス
INMODE LTD	2,709	1,233	2,235	335,017	ヘルスケア機器・サービス
ELF BEAUTY INC	247	424	5,920	887,135	家庭用品・パーソナル用品
KENVUE INC	2,795	3,827	8,740	1,309,832	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	17,297 15	16,719 15	65,255 —	9,778,504 <45.2%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF	260	348	2,906	459,782	家庭用品・パーソナル用品
BEIERSDORF AG	419	419	5,157	815,840	家庭用品・パーソナル用品
SYMRISE AG	330	183	1,887	298,587	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,009 3	951 3	9,950 —	1,574,211 <7.3%>
(ユーロ…イタリア)					
INTERCOS SPA	—	465	634	100,300	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	465 1	634 —	100,300 <0.5%>
(ユーロ…フランス)					
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	114	103	6,541	1,034,890	耐久消費財・アパレル
L'OREAL	144	236	8,108	1,282,837	家庭用品・パーソナル用品
HERMES INTERNATIONAL	15	15	3,546	561,076	耐久消費財・アパレル
INTERPARFUMS SA	157	173	702	111,206	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	431 4	528 4	18,900 —	2,990,011 <13.8%>
(ユーロ…スペイン)					
PUIG BRANDS SA-B	—	1,225	2,326	368,016	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	1,225 1	2,326 —	368,016 <1.7%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,440 7	3,170 9	31,811 —	5,032,539 <23.2%>
(イギリス)			千イギリスポンド		
UNILEVER PLC	1,264	1,217	5,632	1,075,602	家庭用品・パーソナル用品
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	383	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
CRODA INTERNATIONAL PLC	888	636	2,168	414,113	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,536 3	1,853 2	7,800 —	1,489,716 <6.9%>
(スイス)			千スイスフラン		
GIVAUDAN-REG	7	4	1,926	328,566	素材

銘柄	株数	当 期		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
					外貨建金額
(スイス) AVOLTA AG GALDERMA GROUP AG	百株 1,319 —	百株 729 185	千スイスフラン 2,641 1,626	千円 450,502 277,377	一般消費財・サービス流通・小売り 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,326 2	919 3	6,194 —	1,056,446 <4.9%>
(香港) CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H	1,624	1,624	千香港ドル 8,461	162,959	一般消費財・サービス流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1,624 1	1,624 1	8,461 —	162,959 <0.8%>
(韓国) APR CORP./KOREA	—	204	千韓国ウォン 1,100,210	115,852	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	— —	204 1	1,100,210 —	115,852 <0.5%>
(中国オフショア) PROYA COSMETICS CO LTD-A	—	1,055	千オフショア元 9,732	200,320	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	— —	1,055 1	9,732 —	200,320 <0.9%>
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	24,225 28	25,547 32	—	17,836,339 <82.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 20,610,322	% 95.2
コール・ローン等、その他	1,035,738	4.8
投資信託財産総額	21,646,060	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (18,286,505千円) の投資信託財産総額 (21,646,060千円) に対する比率は84.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=149.85円	1 ユーロ=158.20円	1 イギリスポンド=190.98円	1 スイスフラン=170.54円
1 香港ドル=19.26円	100韓国ウォン=10.53円	1 オフショア元=20.5818円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	21,646,060,282
コール・ローン等	1,033,822,816
株式(評価額)	20,610,322,326
未収配当金	1,911,711
未収利息	3,429
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	21,646,060,282
元本	11,660,901,800
次期繰越損益金	9,985,158,482
(D) 受益権総口数	11,660,901,800口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,563円

<注記事項>

- ①期首元本額 11,422,015,958円
 期中追加設定元本額 1,112,650,060円
 期中一部解約元本額 873,764,218円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8563円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	10,226,789,394円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	1,434,112,406円
合計	11,660,901,800円

○損益の状況 (2024年6月11日～2024年12月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	136,121,964
受取配当金	125,732,411
受取利息	10,335,496
その他収益金	54,057
(B) 有価証券売買損益	△ 2,559,024,686
売買益	1,109,799,110
売買損	△ 3,668,823,796
(C) 保管費用等	△ 1,994,517
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,424,897,239
(E) 前期繰越損益金	12,068,471,563
(F) 追加信託差損益金	1,135,519,940
(G) 解約差損益金	△ 793,935,782
(H) 計(D+E+F+G)	9,985,158,482
次期繰越損益金(H)	9,985,158,482

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。